



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

特別展

海軍大佐 松岡静雄の見た世界

10月22日(土)～11月23日(水・祝)



松岡静雄

10月22日～11月23日の期間、記念館にて特別展「海軍大佐 松岡静雄の見た世界」を開催します。松岡静雄は柳田國男の弟で、海軍大佐にまでなられた方です。軍人として世界各地を回ることでさまざまな体験をし、多くの人々と触れ合いました。そこから言語学にも大きな関心を示し、多くの著書も残されています。今回の展示では、静雄の足跡を辿りなが

初公開！

以前ご紹介した静雄の海軍在籍時の行動が細かく記録された『奉職履歴』ですが、翻刻(一般に読みやすい形式にすること)作業も終わり、ようやく皆さんに公開できる準備が整いました。

記念講演会

松岡静雄の柳田國男宛て書簡と奉職履歴を読む
講師 岩井忠彦氏
日時 11月13日(日)
時間 13時30分
場所 2階講義室



奉職履歴

今回の特別展ではこの『奉職履歴』を中心に当館が所蔵する静雄の書簡や著書をご紹介します。ほんの一部ですが、展示予定の史料を紹介したいと思います。

記念閑話

最近では気候も安定し過ぎしやすくなってきました。この時期、特に貴重な書籍等があるモノから守るためによく行われる作業があるのをご存知でしょうか？

新鮮な風にあて、空気を入れ替える曝涼(ぱくりよう)です。もう少し簡単な言い方をしますと「虫干し」です。

史料紹介

明治36年(1903年) 3月14日付の 松岡静雄書簡

この書簡は静雄が兄・國男に宛てて書いた手紙です。手紙の内容は瀬戸内海兵方面で大演習を実施中であること。日本海北部に向かった後、4月には神戸・大阪で観艦式を行うこと。その後、5月には清国北部



明治36年3月14日付の松岡静雄書簡の一部

大きな蔵を持つ寺院ではよく行われ、あの有名な「正倉院展」も正倉院宝物の曝涼にあわせました。この時期、特に風通しのよいところに置くことにより書籍を傷める虫を除去し、防湿の効果も期待できます。また傷んでいる史料がないかの点検にもなります。

記念館でも天気の良い日にはできるだけ曝涼を行い、史料の保存に努めていきます。の警備行動に約一年間予定であると伝えていきます。

お知らせ！

今年4月から、福崎町立柳田國男・松岡家記念館として町が管理運営をしています。

入館料は無料です。是非お越し下さい。

この時期はまだ日露戦争前の比較的平和な時であり、4月の観艦式でも大阪市の要請で一般人にも軍艦の観覧を行うと書いています。しかし翌年の2月には日露戦争が開戦し、『奉職履歴』によると静雄も一年間の警備行動の予定を繰り上げて佐世保へ帰港しています。この書簡と『奉職履歴』とを照らし合わせることで、急激な世界の変化を読み取ることができるといえます。